

山梨県立 考古博物館だより NO. 77

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

考古博物館の日 考古博物館 春まつり

弓矢で狩りをして、土器でごはんを作っていた縄文時代。昔むかしの人たちはどんな暮らしをしていたんだろう…。まだ雪が残る3月1日(土)、こんなコンセプトで開催した「考古博物館 春まつり」。普段あまりなじみのない考古学の世界を大胆に体験できるイベントです。



「弓矢で狩猟体験」はいつも大人気。初めて握る弓の感触に戸惑いながらも、ちびっこたちは真剣に的を狙っていました。このほか、ムックリと呼ばれる口琴(こうきん)作りでは、素材の竹と紐を調節して不思議な音色を奏でる楽器を作りました。これからも当館では展示を見学するだけでなく、いろいろなスタイルで考古学に親しめるイベントを開催してまいりますので、ぜひ足をお運びください!



今回デビューした新イベント「泥めんこ形のチョコを作ろう!」江戸時代の泥めんこから型をおこし、チョコレートを流し込んでスイーツづくりに挑戦しました!

「第11回 わたしたちの研究室」を開催しました!

「わたしたちの研究室」は、歴史や考古学を学ぶ楽しさを小中学生の皆さんに知っていただくために、夏休みの自由研究やクラス、学年単位で取り組んだ考古学に関する研究成果を募集・表彰し、ご応募いただいた作品すべてを展示公開するコンクールで、11回目を迎えた今年度は、個人研究部門 小学校の部10点、中学校の部263点、団体研究部門1点のご応募いただき、総数423名もの児童・生徒の皆さんにご参加いただきました。

展示室のようす



雪の甲斐風土記の丘・曽根丘陵公園



作品一つ一つに目を通すと皆さんがそれぞれ史跡を歩き、文献で調査し、楽しみながら体験し、作り考えた様子がうかがえます。

本来ならば、表彰式と研究発表会を開催するところですが、今回は表彰式前後に稀にみる大雪に見舞われ、交通状況も大変混乱しました。このため受賞者の皆様の安全も鑑み、已む無く中止とさせていただきます。なお、ご応募いただいた全作品は、予定通り2月10日(月)から3月2日(日)まで当館で展示いたしました。受賞作品については次ページで詳しく紹介しています。

第11回わたしたちの研究室 受賞者のみなさま

個人研究部門 (小学校の部)

最優秀賞 (県教育委員長賞)

山梨大学教育人間科学部附属小学校 6年 水上 宰宏

「湯村山周辺の古墳調べ」

近所の山に古墳があることを知り、調べてみようと思ったことをきっかけに、電話での問い合わせから図書館や博物館での調査、体験学習への参加を経て、実際に古墳を踏査した記録です。この過程で県内には古墳以外にも各地にさまざまな時代の遺跡があることを知った水上くんは、これからも興味をもって楽しく歴史を学んでいきたいとの感想をもったそうです。



優秀賞 (県教育長賞)

- 駿台甲府小学校 野代和奏
「甲府城をもっとアピールしよう」
- 南アルプス市立白根飯野小学校 大村 玲
「ロタコのまとめ」
- 南アルプス市立白根飯野小学校 岩澤詩恵莉
「ロタコ」
- 南アルプス市立白根飯野小学校 斎藤航大
「ロタコまとめ」
- 南アルプス市立白根飯野小学校 川村 玲
「ロタコのまとめ」

努力賞 (山梨県考古学協会会長賞)

南アルプス市立白根飯野小学校 野代七織
「むかしのくらしを体験したよ」

奨励賞 (山梨県立考古博物館館長賞)

- 北社市立小淵沢小学校 西山実芽依
「武田信玄の一生～信玄公はなぜ神様になったのか～」
- 中央市立三村小学校 杉野真珠
「縄文人のファッションについて」

個人研究部門 (中学校の部)

最優秀賞 (県教育委員長賞)

該当なし

優秀賞 (県教育長賞)

該当なし

努力賞 (山梨県考古学協会会長賞)

- 都留市立都留第二中学校 山本文己
「ひなづる姫が歩いた道」
- 駿台甲府中学校 穂山あかり
「経塚古墳～古墳の形状～の研究」

奨励賞 (山梨県立考古博物館館長賞)

- 都留市立都留第二中学校 渡邊成美
「私のすんでる地域の神社」
- 駿台甲府中学校 窪田純大
「殿林遺跡 深鉢形土器の研究」



団体研究部門

最優秀賞 (県教育委員長賞)

該当なし

優秀賞 (県教育長賞)

該当なし

努力賞 (山梨県考古学協会会長賞)

該当なし

奨励賞 (山梨県立考古博物館館長賞)

駿台甲府中学校 「縄文土器作りに挑戦」

来たれ若者!!

第12回わたしたちの研究室
研究成果を募集します!

博物館に展示してある土器、実は自分の家の近くの遺跡で見つかったものだった。どんな遺跡なんだろう？家の近くに不思議な石碑があるけれど、あれって何？いつから、どうしてあそこにあるの？…小中学生の皆さん、たとえばこんな疑問が湧いたなら、まずは「調べて」みよう。展示を静かに鑑賞することも大事。教科書をしっかり読んで、先生の話聞くことも大事。でも、それだけではわからない世界もきっとあるはず。本を読んだり、現地に行ったり、体験したり、自分の五感を使って歴史を実感してみよう。これまで難しく堅苦しいと思っていた「歴史」が、ちょっと自分に近づいた気がしたら、その思いをみんなに紹介してあげたらどうかな？

県立考古博物館の「わたしたちの研究室」では、このような小中学生の研究を広く募集しています。夏休みの自由研究や総合的な学習の時間におけるさまざまな研究の成果を多くの皆様にご覧いただく絶好の機会です。学校での学習という土台の上に、自分で調べ主体的に考え研究する力を養う場として、学校教育の取り組みの中でもご活用いただきたいと思います。

第12回わたしたちの研究室 研究成果の募集：9月2日(火)～11月30日(日)

第31回特別展

食いしんぼうの縄文人



去る平成25年9月25日(水)から11月24日(日)まで、第31回特別展「食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流～」を開催しました。約1万年続いたともいわれる縄文時代、人間が生きていくうえで最も基本的な「食」に関して、縄文人たちがどのように考えていたのかをさまざまな考古資料をとおしてご紹介しました。佐賀県の東名遺跡から出土した緻密な編みかごは、これまでの縄文時代に対するイメージを覆すには十分なインパクトでした。自然という偉大な存在の中でたくましく生き生きと暮らしていた縄文人の姿を想像していただけたのではないのでしょうか。

会期中は講演会をはじめ特別展に関連したイベントも多数開催し、多くのお客様においでいただきました。



▲ 毎年好評の小学生対象の「めり絵」

特別講演会

- ▶ 10月 6日(日) 「縄文時代の食料の再検討」
元国立歴史民俗博物館教授 西本 豊弘 氏
- ▶ 10月13日(日) 「『縄文時代』の食と生活を考える」
首都大学東京教授 山田 昌久 氏
- ▶ 10月27日(日) 「貝塚から見てきた縄文時代の生業と社会」
山梨県立博物館学芸員 植月 学 氏



「食いしんぼう」なのは現代人も同じ。期間中はドングリを使ったメニューを多数ご用意して来館者の皆様に食べていただくイベントも開催しました。

クリやクルミ以外のドングリも、あまり知られていませんが木の実も重要な食料の一つでした。現代風にアレンジしたドングリスイーツは美味しいと好評。縄文人もきっと彼らなりに美味しく調理していたのでしょう。

秋になると公園や道端で見かけるドングリ。縄文人の食生活をとおして、現代にもつながる豊かな日本の食文化に思いを馳せていただけたのではないかと思います。

10月20日(日)、あいにくの天気でしたが「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の植生を学び、特別展を見学した「史跡文化財セミナー 考古博物館周辺で縄文食を探す」を開催。10月26日(土)には、「縄文王国山梨」との共催で「考古博物館の日 縄文カフェ開店!」を開催しました。



また、11月9日(日)には県埋蔵文化財センターとの共催で「縄文と弥生の収穫祭」と題し、ドングリやイノシシ・シカ肉を使った野趣あふれる現代風の縄文・弥生メニューでお客様をお迎えしました。

見て学ぶ考古博物館

冬季企画展「古代都留郡ものがたり」

12/14(土)～2/2(日)

県内の考古資料を地域ごとに紹介する企画展の県東部、富士北麓編。古くは『和名類聚抄』に「豆留」としてその名を残すこの地域は、武蔵国・相模国・駿河国などの周辺地域と甲斐国を結ぶ交通の要衝でした。三万年にさかのぼる旧石器時代から絶えることなく続いてきた先人の歩み、また今後はリニア中央新幹線の沿線にあたることや富士山の世界遺産登録により大きく発展していく地域の歴史を、さまざまな考古資料から紹介しました。



新年干支展「午」

1/2(木)～2/2(日)

平成26年の干支は「午」。ウマと私たちの深く長い付き合いを、古墳時代の馬具や青銅鏡、平安時代の土馬などから探りました。



富士山ミニ展示

2/15(土)～3/2(日)

昨年世界文化遺産に登録された富士山。信仰の山、芸術の源泉として時に畏れ、時に親しんだ富士山の姿を、富士山信仰にまつわる遺物から紹介しました。

風土記の丘望見展「青銅器の輝き -今年度の活動記録-」

2/1(土)～3/23(日)

風土記の丘研修センターでは、勾玉づくりや土器作りなどの体験をとおして、考古博物館の展示プラスアルファで古代の世界を体感できるイベントが目白押し。今回の望見展はそんな体験学習の活動記録を紹介するだけでなく、当館の目玉である青銅器作りにおいて銅と錫の混合比率を変えることで色調や強度にどのような変化があるのかを実験した成果を紹介しました。



大丸山古墳が国の史跡に指定されました！

大丸山古墳は「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」内に位置する前方後円墳で、冬には考古博物館の真後ろにその姿を確認することができます。

昭和4(1929)年に地元住民によって発掘され、青銅鏡をはじめ鉄製武具、工具、装身具、石枕等の豊富な副葬品とともに上下二段に分けられた特異な構造を持つ主体部が明らかとなりました。

この地域は、南側には上の正方形周溝墓群が、また南西側には天神山古墳、西側には山梨県最古の小平沢古墳(前方後方墳)、北側には山梨県最大の前方後円墳である甲斐銚子塚古墳、同じく最大の円墳である丸山塚古墳などがあることから山梨県における古墳の発祥地かつ中枢でもあり、ヤマト政権の東国進出における重要な役割を果たした場所と考えられます。このたび国の史跡に指定されたことを受けて史跡整備が進む中で、大丸山古墳の全体像がより明らかになることが期待されます。

現在、大丸山古墳の出土品はすべて東京国立博物館の所蔵となっており、山梨県立考古博物館ではその一部の複製品を展示しております。ただいま石枕の複製品を制作中であり、追って常設展に展示する予定ですのでぜひご覧ください。



体験して楽しむ考古博物館

チャレンジ博物館

小中学生とその保護者を対象とした「チャレンジ博物館」。子供のイベントと侮るな
 かれ、土器作りや土偶作りは手伝う保護者が真剣になってしまうほどの本格的なもの。
 特別展に合わせた土器作りでは、展示した有孔罽付土器をモデルに皆さん上手に作っ
 ていました。このほか縄文の土鈴と干支にちなんだ土鈴を作る「土鈴をつくろう」や
 縄文時代の土製耳飾りを模したアクセサリー作りも人気です。



- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 10/20 (日) 縄文土器をつくろう | 1/12 (日) 土偶をつくろう |
| 11/17 (日) 森の草木で染めてみよう | 3/9 (日) はにわをつくろう |
| 12/8 (日) 干支の土鈴をつくろう | 3/9 (日) 縄文時代の
アクセサリーをつくろう |

※2/16開催予定の「はにわをつくろう」は、大雪のため3月9日に「縄文時代のアクセサリーをつくらう」と併せて開催いたしました。



原始古代の技に学ぶ

いわば「大人の体験学習会」である「原始古代の技に学ぶ」は、考古学や歴史を学びながらも普段の生活に寄り添ったものづくりを体験できる教室です。古墳時代の王者の装いであるトンボ玉を作ってみたり、平安貴族が纏った色を植物染料で再現したり、青銅鏡の鑄造や研磨をとおして古代のハイテクノロジーを体感したり。日常とちょっと離れた体験で、あなたもリフレッシュしてみませんか。



植物で染めた毛糸でマフラーを織った「草木染めと原始機織り」

古代のもちつき

1/2 (木) ~ 1/3 (金)

お正月恒例の「古代のもちつき」、今年
 は黒米餅やクルミを混ぜた餅を来館してく
 ださった皆様と搗き、新年を祝いました。



甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園のイベント

共催：富士観光開発株式会社・富士グリーンテック グループ

ドッグショーや木工クラフトが人気の「秋のふれあい祭り」、公園の落ち葉を掃除しながら史跡散策もでき、最後は焼きいもがもらえる「落ち葉で、焼きいも！」など、歴史を身近に感じ、自然とふれあう「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の魅力が満載のイベントを開催しました。



縄文カフェにようこそ！ 電子レンジで作る簡単どんぐりクッキー

材料 ・アク抜きしたどんぐり粉（あるいはペースト）…40g ・きな粉…40g ・砂糖…30g ・植物油…大さじ3弱

- 1 ポウルにどんぐり粉、きな粉、砂糖を入れ、植物油を少しずつ加えながら良く混ぜ合わせ、丸めやすい固さになるまで生地をこねる。どんぐりペーストの場合は油がこれより少なくてもよい。
- 2 直径1.5～2cmくらいの大きさに生地を丸め、耐熱皿にオープンシートを敷き、その上に均等に並べる。
- 3 電子レンジに入れ、600wで約3分加熱する。レンジの「くせ」で加熱ムラができるので、1分ずつ加熱して中の様子を見、表面にヒビが入るくらいがちょうどよい。煙がもうもうと出てきたらすぐに止める（1～2個は焦げてしまっているかも）。ターンテーブルがないレンジの場合は、ときどき向きを変えて合計で3分になるくらいがよい。
- 4 熱いうちは崩れやすいので、そのまま粗熱を取る。

平成25年度考古博物館事業参加者統計

開催日	内容	参加者
-----	----	-----

●原始古代の技に学ぶ(大人のものづくり教室)

4/13	トンボ玉作り	5
5/25・6/1	青銅鏡作り	10
6/8・15・29	縄文土器作り	27
7/13	草木染め	15
8/10	トンボ玉作り	3
9/14・29	青銅鏡作り	10
10/6	勾玉作り	14
11/10	トンボ玉作り	6
12/15	珧状耳飾り作り	10
1/11・25・26	草木染めと原始機織り	33
2/8・15・3/1	縄文土器作り	12
3/8・16	青銅器作り	10

●チャレンジ博物館(小・中学生親子ものづくり教室)

5/26	大きな勾玉をつくろう	24
6/16	縄文時代の布を編んでみよう	9
6/30	縄文時代のアクセサリーをつくろう	25
7/14・21・8/4	縄文土器を作ろう	78
8/18	縄文時代のかごをつくろう	22
9/8	弥生時代の矢じりをつくろう	24
10/20	縄文土器を作ろう	4
11/17	森の草木で染めてみよう	31
12/8	干支の土鈴をつくろう	30
1/12	土偶をつくろう	25
3/9	はにわをつくろう	8
3/9	縄文時代のアクセサリーをつくろう	8

●史跡文化財セミナー

4/28	信玄公の御館を訪ねる 林 陽一郎氏	44
6/16	北杜の縄文人を訪ねる 北杜市教育委員会 村松佳幸氏	21
8/4	河口御師の里を訪ねる 富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏	25
10/20	考古博物館周辺で縄文食を探す	7

●考古学講座 考古学が語る暮らし・環境・自然災害

6/9	「富士山の火山災害と人々の暮らし」 富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏	51
6/30	「地震災害の痕跡と水害との戦い」 宮城県教育庁 保坂和博氏	55
7/21	「水害と水防の歴史」 南アルプス市教育委員会 斎藤秀樹氏	38
8/18	「災害の教訓から身を守る」 山梨県立大学 奥水達司氏	44

●冬季企画展関連講座

1/26	冬季企画展関連講座「古代都留郡ものがたり」 富士・東部農務事務所 笠原みゆき氏	27
------	--	----

●縄文王国山梨

8/24	縄文王国 伝承館で夏まつり	210
9/29	講演会・写真コンテスト「縄文文様探し」	23
12/22	講演会「縄文人の世界観」	66
2/11	講演会「土器、文様から図像へ」	51

●特別展関連

9/1	事前講座「食いしんぼうの縄文人の見どころ」	18
-----	-----------------------	----

●学校などの来館状況

○山梨県内

小学校・中学校	中北	甲府市立千代田小(6)・池田小(6)・石田小(6)・貫川小(6)・伊勢小(6)・里垣小(6)・大里小(6)・舞鶴小(6)・湯田小(6)・東小(6)・池田小(3)・中道南小(5,6)・山城小特別支援(1,4,5)・南アルプス市立南湖小(6)・白根東小(6)・芦安小学校(6)・中央市立三村小(6)・玉穂南小(6)・田宮南小(6)・田宮小(6)・豊富小(6)・北杜市立長坂小(6)・泉小(6)・高根東小(6)・甲斐市立敷島小(6)・敷島小(6)・玉穂小(6)・竜王北小(6)・竜王南小(6)・中央市立田宮中(2,3)・甲斐市立竜王中(2)・玉穂中(2)・双葉中(2)・敷島中(2)・敷島中(2)・南アルプス市立白根巨摩中(2)・櫛形中(2)・若草中(2)・北杜市立須玉中(2)・韮崎市立韮崎東中(2)・昭和町立押原中(2)
	峡南	富士川町立増穂中(2)・身延町立下部中(1)・久那土中(2)・早川町立早川中(2)
	富士・東部	上野原市立上野原中(2)
	私立	駿台甲府中(1)・英和中A(2)・英和中B(2)・南アルプス子どもの村中(1,2)
特別支援学校	ろう学校 小学部(6)・やまびこ支援 高等部(1~3)	

○山梨県外

小学校・中学校	東京都	荒川区立第一日暮里小(6)・第七峡田小(5)・第二日暮里小(5)・尾久宮前小(5)・第九峡田小(5)・尾久西小(5)・中央区立中央小(6)・久松小(6)・坂本小(6)・月島第一小(6)・泰明小(6)・京橋築地小(6)・月島第三小(6)・新宿区立戸塚第一小(5,6)・小平市立小平第十五小(6)・小平第八小(6)・小平第四小(6)・小平第二小(6)・小平第九小(6)・小平第十一小(6)・鈴木小(6)・小平第三小(6)・小平第十二小(6)・小平第十三小(6)・学園東小(6)・小平第十小(6)・上宿小(6)・小平第五小(6)・小平第十四小(6)・小平第一小(6)・花小金井小(6)・前原小(6)・青梅市立青梅第六小(6)・吹上小(6)・多摩市立永山小(6)・東愛宕小(6)・聖ヶ丘小(6)・諏訪小(6)・南鶴巻小(6)・東寺方小(6)・府中市立府中第二小(5)・武蔵野小(5)・小金井市立本町小(6)・緑小(6)・小金井第一小(6)・小金井第四小(6)・小金井第三小(6)・東小(6)・東村山市立大岱小(6)・私立光華学園小(6)
	埼玉県	戸田市立戸田南小(6)
	静岡県	富士宮市立上野小(6)・山宮小(6)・富士根北小(6)・富士根北小粟倉分校(6)・北山小(6)・大富士小(6)

※()内は来館した学年を示す ※市区町村名以降は当館来館順に記載 ※中学校の教育課程に基づく「一人歩き」や「班別行動」などの一部生徒の来館を含む

●古代衣装貸し出し状況

県外	群馬県文化振興課・埼玉県生活科学センター・釈迦堂遺跡博物館
県内	富士河口湖町立小立小(6)・甲府支援学校 高等部・市川三郷町立六郷小(6)

開催日	内容	参加者
-----	----	-----

10/6	「縄文時代の食料の再検討」 元国立歴史民俗博物館教授 西本豊弘氏	38
10/13	「縄文時代」の食と生活を考える 首都大学東京教授 山田昌久氏	31
10/27	「貝塚から見てきた縄文時代の生業と社会」 県立博物館学芸員 植月 学氏	19

●いろいろなイベント

5/5・6	風土記の丘こどもまつり	24,906
7/6	国民文化祭 夏のステージ ウェルカムイベント	27
7/15	夏休み自由研究プロジェクト 2013	73
7/20~8/31	夏休みフリーパスポートイベント	
	古代の火おこしにチャレンジしよう!	74
	勾玉をつくろう!	192
	トンボ玉をつくろう!	125
	青銅鏡をつくろう!	19
	土器の拓本をつくろう!	291
10/14	風土記の丘・曾根丘陵公園 秋のふれあい祭り	4,594
11/9	縄文・弥生の収穫祭	65
11/20	県民の日イベント	1621
11/24	落ち葉で焼きいも!	286
1/2・3	古代のもちつき	74
2/9	第11回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会	大雪のため 中止

●考古博物館の日

4/27	甲冑を着て戦国武将に変身! &焼米を食べてみよう!	25
5/25	竪穴住居でおはなし会 &どんぐりデザートを作ろう! 食べよう!	38
6/22	富士山のお札を刷ろう!	41
7/27	考古学探検隊	21
10/26	縄文カフェ開店!	55
1/25	考古学探検隊 大丸山古墳探検ツアー	28
3/1	考古博物館 春まつり	428

●体験学習(教育普及活動・一般・3/20現在) ※イベントをのぞく

古代の火起こし	5,819
勾玉づくり	2,570
青銅鏡づくり	0
縄文の土鈴づくり	84
クルミベンダントづくり	103

●入館者数

常設展示(3/20現在)	22,866
第31回特別展「食いしんぼうの縄文人」	6,545
春季企画展「武田と城と城下町〜信玄たちが駆け抜けた時代〜」	7,060
夏季企画展「日本一の富士山展〜人々の信仰とくらし〜」	5,630
冬季企画展「古代都留郡ものがたり〜富士北麓の出土品展〜」	783
新年干支展	462
第11回わたしたちの研究室	180
富士山ミニ展示	135
風土記の丘望見展「青銅器の輝き」(3/20現在)	69
山梨の遺跡展 2014(埋蔵文化財センター主催・3/20現在)	386

山梨県立考古博物館 平成26年度イベント予定一覧(2014.3)

月	企画・特別展	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (高校生以上・一般)	ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～ (小中学生親子)	講演会・セミナー	祭り・その他
4	3/8～4/6 山梨の遺跡展2014 4/26～6/15	20 球状耳飾ペンダント作り (企画展関連)			※考古博物館の日は 月の第4(1)日曜日(○の日) ⑦考古博物館の日 甲冑を着て戦国武将に变身!(小学生対象)
5	「縄文人の装い」 「縄文人の装身具」	17・24 青銅器作り(特別展関連)	25 石製耳飾りづくりにチャレンジ (企画展関連)	11 大珠をつくろう (企画展関連) 18 第61回史跡文化財セミナー 「北口本宮富士浅間神社と 吉田口登山道周辺を歩く」	5・6 (公園管理者共催) 第26回風土記の丘こどもまつり ⑤考古博物館の日 堅穴住居ではおはなし会&どんぐり デザートを作ろう!食べよう! (図書館共催)
6		7・14・28 縄文土器(有孔・有孔罎付土器) 作り(特別展関連)	15 土製耳飾りづくりにチャレンジ (企画展関連)	8 第1回考古学講座 「武田城下町」(協定会共催) 29 縄文の笛をつくろう (特別展関連)	②考古博物館の日 富士山のお札(ふだ)を刷ろう! (世界遺産認定1周年)
7	7/19～8/31 「まじないの世界」 「儀式・呪文・霊的技術」	13・26 青銅器作り(特別展関連)	20・27・8/10 縄文土器(有孔罎付土器)に チャレンジ(特別展関連)	6 第2回考古学講座 「谷村城下町」(協定会共催) 20 第3回考古学講座 「新府城下町」(協定会共催)	19～8/31 夏休みイベント ⑦考古博物館の日 おまじないの木簡づくり (企画展関連)
8	「まじないの世界」 「儀式・呪文・霊的技術」	10・16 トンボ玉作り	24 縄文のかごづくりにチャレンジ	3 第62回史跡文化財セミナー 「本栖湖周辺の中道往還を歩く」 17 第4回考古学講座 「甲府城下町」(協定会共催) 31 口琴・呼び子をつくろう (特別展関連)	
9		13・28 青銅器作り(特別展関連)	7 はにわづくりにチャレンジ		2～11/30 第12回わたしたちの研究室 研究成果募集(小中学生対象)
10	10/8～11/24 「掘り起こされた音の形」 「まじりと音具の世界」	12 口琴(ムックリ)作り (特別展関連)	5 弥生時代の笛づくりにチャレンジ (特別展関連) 19 弥生時代の琴づくりに チャレンジ (特別展関連)		⑥考古博物館の日 チャレンジ演奏会・収穫祭 (埋文共催)
11	11/25～1/13 「防災関係改修工事のため 本館は休館と なります。平常開館と なります。」	3・8 トンボ玉作り	2 小銅鐸づくりにチャレンジ (特別展関連)	2 特別展講演会(予定)	9 特別展記念・古代琴 コンサート「古代の調べ」 20 県民の日イベント (埋文共催) 24 落ち葉で焼きいも (公園管理者共催)
12		14 勾玉作り	7 干支の土鈴づくりにチャレンジ	14 第63回史跡文化財セミナー 「信玄の棒道を歩く」	
1		24 草木染め	18 クルミペンダントづくりに チャレンジ		18 古代のもちつき ⑤考古博物館の日 風土記の丘探検隊
2	2/10～3/1 「展示会」 「展示会」 「展示会」	1/31・2/7・21 縄文土器作り	15 土偶づくりにチャレンジ		8 第12回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会 ②考古博物館の日(富士山の日) 富士山のお札を刷ろう!
3	3/7～4/5 山梨の 遺跡発掘展 2015	7・15 青銅器作り	8 勾玉づくりにチャレンジ		①考古博物館春まつり (埋文共催)

※特別展の準備及び撤去作業並びに防災関係改修工事のため、9月29日(月)～10月7日(火)まで、11月25日(火)～1月13日(火)まで臨時休館となります。また、4月28日(月)・8月11日(月)・9月22日(月)・10月14日(火)・11月4日(火)は臨時開館となります。臨時休館日と臨時開館日については、考古博物館ホームページなどでご確認ください。
※この他、職場体験(中学・高校生・随時)受け入れや記載以外のイベント(不定期)などを行います。
※開催日及び内容を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。
※ものづくり教室や講座などのお申し込みが必要なイベントは、開催日の1ヶ月前から募集を開始します。

重要!**観覧料に関するお知らせ**

小中学生・高校生・特別支援学校の皆さんの
観覧料が**無料**となりました!

このたび、県立の四施設(県立考古博物館・県立美術館・県立文学館・県立博物館)における**小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童、生徒の皆さんの観覧料が無料となりました。常設展だけでなく、企画展や特別展の観覧料も無料となります。**

これまで以上に楽しむ展示の中に学べる喜びのある博物館でありたいと思います。これからも、お気軽に考古博物館までお越しください。

消費税率の改定に伴い、観覧料が一部変更となります!

平成26年4月1日からの消費税率の改定に伴い、考古博物館の観覧料が次のとおりとなります。ご面倒をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

■ 個人	210円 → 210円
■ 団体(20名以上)	160円 → 170円

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内**山梨県立考古博物館** TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで
休館日 毎週月曜日(祝祭日・振替休日を除く)
祝日の翌日(日曜日・祝日を除く)
12月29日~1月1日

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方(ただし、特別展は県外の方を除く)
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・県民の日(11月20日)
- ・県内の学校の教育課程での見学(下記参照)

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・事前に電話で見学や体験の申し込みをしてください。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先

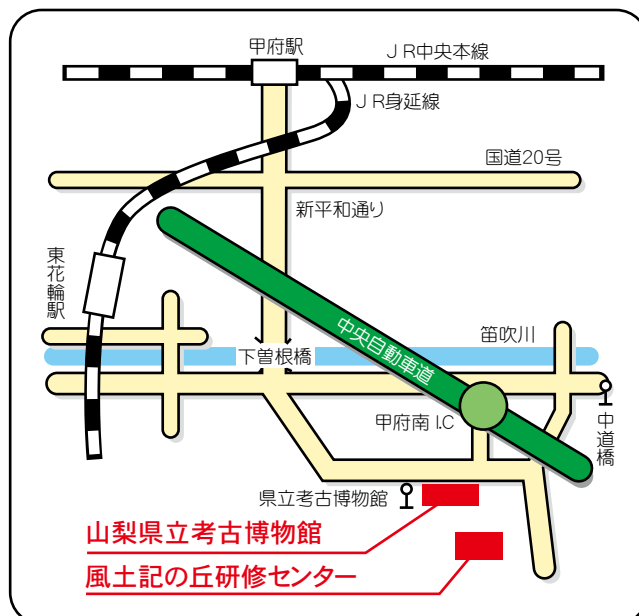
055(266)5286 風土記の丘研修センター

交通

- (1) 路線バスの利用
・甲府駅南口8番のりばより「75系統 中道橋経由 豊富」行き約30分 - 「県立考古博物館」下車
- (2) 自家用車の利用
中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)
12月29日から1月5日



考古博物館だより第77号をお届けします。編集中に観測史上最高となる積雪に見舞われた甲府盆地、当館の行事も変更を余儀なくされました。改めて大いなる自然の力を感じるとともに、縄文人たちもこの自然の一部として生きていたのだろうかと考えました。新年度もイベントが目白押し!ぜひ足をお運びください。(あ)

発行日 平成26年3月28日
発行 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
電話 055-266-3881
印刷 株式会社 峡南堂印刷所